

<現代社会に「いのち」の意味を求めて>

これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない(マタイ 18-14)
一人ひとりのいのちは、神から与えられたかけがえのない尊いものです。しかし、今日、新薬開発の例に見られるように、企業利益のもとでのいのちが、もてあそばれたり、出生前診断や遺伝子操作の例にみられるように、いのちが、人間の思いのままに操られようとしている。いのちを巡る社会の現実を直視しながら、いのち尊さ、神秘を改めて確認し、いのちに対する理解を深めていきたいと考え企画しました。

土曜日 13 : 30～15 : 30

- | | | |
|-------|--|---------------------------|
| 5月11日 | <現代の日本人にとっての「いのち」>
—「もう」と「まだ」の間で— | 大木 聡
(真生会館館長) |
| 5月18日 | <創造観と良心観の視点からいのちの問題を考える>
(『いのちへのまなざし(2001年発行)を参考にして | J. マシア
(イエズス会司祭) |
| 6月1日 | <若者の性と人間関係 ～保健室での関わりから～> | 岡山 睦美
(公立中学校養護教諭) |
| 6月15日 | <HPV ワクチン それは安全だったのですか?>
～副反応被害の声は消えない～ (全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会代表) | 松藤 美香 |
| 6月29日 | <学生による安楽死事件の模擬裁判を通して、
生と死を見つめ、いのちの意味を問う> | 林 勝彦
(科学ジャーナリスト) |
| 7月6日 | <生きることと、表現すること>
～創作活動を介した心の支援の現場から～ | 倉石 聡子
(アートセラピスト・心理療法士) |

* お申込・お問合せ

一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4

Tel 03-3351-7121・Fax 03-3358-9700

E-mail gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

URL <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

土曜講座 * 受講料：一回毎¥1,000— ・ 学生無料 (学生証ご提示下さい)

希望日程に 5月11日 5月18日 6月1日 6月15日 6月29日 7月6日

お名前

〒ご住所 ・ TEL

講師プロフィール

大木 聡（真生会館館長）

山梨大学大学院修士課程で電気工学を専攻し、IT企業で勤務しソフトウェア作成やシステム開発にあった。10年間のSE生活の後、上智大学神学部にて社会人入学して神学を学ぶ。上智大学に在学中は、真生会館「ワカゲ」スタッフとして働いた。上智大学大学院神学部博士前期課程を終了後に、横浜教区事務局で職員として勤務した。2016年に真生会館の館長となる。これまでに様々な教会活動に携わり、カトリック青年連絡協議会事務局長、カトリック社会問題研究所代表幹事などを務める。

J. マシア（イエズス会司祭）

1941年、スペインに生まれる。1966年来日。1973年司祭に叙階される。1975年マドリード・コムリヤス大学で哲学博士号取得。元、コムリヤス大学（1988 - 1998年）教授、上智大学神学部教授（倫理・哲学思想史担当）。主な著書『脅かされるいのち—胚の操作から武器の市場まで』2002年、単行本『暴力と宗教—闘争か和解か、人間の選択』2005年、単行本 『人間の哲学』2005年、聖母文庫『倫理の探究』2010年、聖母文庫

岡山 睦美（公立中学校養護教諭）

日本体育大学卒。横浜市内の公立小学校・中学校で養護教諭として働いたのち、栄光学園で5年間養護教諭として勤務。その後聖心女子大学大学院博士前期課程にて人間科学を専攻し、セクシャリティ教育について研究した。2013年より横浜教区カトリック学生連盟の学生たちを対象に、分かち合いを取り入れたセクシャリティ教育講座を開いている。現在は神奈川県内の公立中学校で養護教諭として勤務する傍ら、教会の仲間とこれらの講座や講座参加者の学生と共に中学校で授業を行なっている。

松藤 美香（全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会代表）

1967年生まれ。東京都出身、大学卒業後、医療検査会社や金融関係会社で仕事をしながら、児童文学を学んでいた最中、娘が子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)副反応(2011年)にあう。副反応後、娘の病状をブログで綴る。2013年3月25日、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会を結成し、その代表を務める。

林 勝彦（科学ジャーナリスト）

1943年、東京生まれ。科学ジャーナリスト塾塾長。慶應義塾大学哲学学科（産業社会学）卒業。65年、NHKに入局。代表作はNHKスペシャル「驚異の小宇宙・人体」「人体??脳と心」「人体??遺伝子・DNA」全シリーズ、他に「プルトニウム大国・日本」、NHK特集「原子力? 放射性廃棄物」「チェルノブイリ原発事故」等。国際モンテカルロ賞、日本賞、地球環境映像祭特別賞、文化庁芸術作品賞他多数受賞。東京藝術大学・早稲田大学大学院等の非常勤講師、東京大学先端科学技術研究センター客員教授、東京工科大学教授などを歴任。

倉石 聡子（アートセラピスト、臨床心理士）

企業に数年勤務した後、アートセラピーを学ぶために渡米。カリフォルニア州立大ロングビーチ校他でアートと心理学を学び、ノートルダム・ドゥナムール大学院にて、MFT（マリタル・アンド・ファミリーセラピー）とアートセラピーの修士号を取得。サンマテオ市の相談センターにて、子供と家族の個人・家族・グループセラピーの実習を積む。帰国後、区立教育センター心理相談員、東京都スクールカウンセラーとして子ども・思春期・家族・教員の相談に関わる。また、都内カウンセリングルームと不妊クリニック等にて成人へのカウンセリング、アートセラピー、箱庭療法などを提供。その他、養護施設、DV支援団体、被災地等でのアートセラピーを用いた活動、企業研修や支援者向け研修、専門学校や大学でのアートセラピー指導に携わる。JIPATT (Japan International Program of Art Therapy) 講師、スーパーバイザー。アップコンセプト主宰。